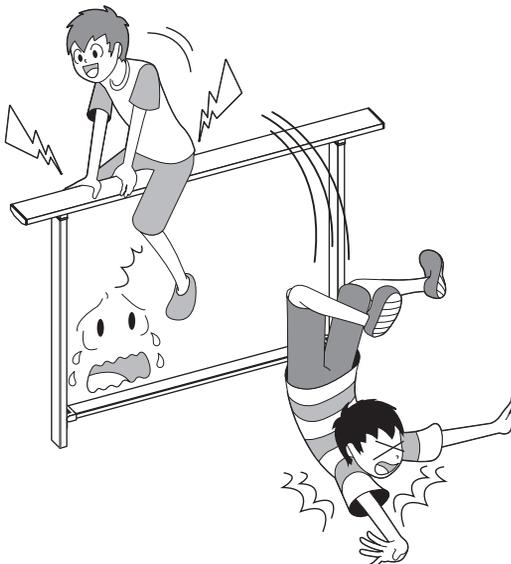


本紙を必ず施主様にお渡し下さい

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
本製品を正しく御理解いただくために、この説明書をよくお読みください。

■使用上のご注意

- 商品本体の上には、乗ったり、腰かけたりしないでください。また、むやみにゆすったりしないでください。
※転落したり、脱落により重大な人身事故が発生する恐れがあります。



■お手入れ方法

- お手入れは中性洗剤を使用してください。シンナー等の石油系溶剤は、絶対に使用しないでください。
(塗装のはげ、キズ、変色、変形等の原因となります)
- 汚れは柔らかい布や、スポンジなどで拭き取ってください。
金属タワシや研磨剤入り洗剤でこすると表面が傷つき、腐食の原因となります。
- 表面についたキズは、放置すると腐食の原因になります。
商品に付属のタッチアップ塗料で補修を行って下さい。



レストレイル手摺

●対象製品

E985EX-RR□□□□108
 E985EX-RR□□□□208
 E985EX-RR□□□□308

E985EX-RR□□□□111
 E985EX-RR□□□□211
 E985EX-RR□□□□311

Ver. 1

RR01

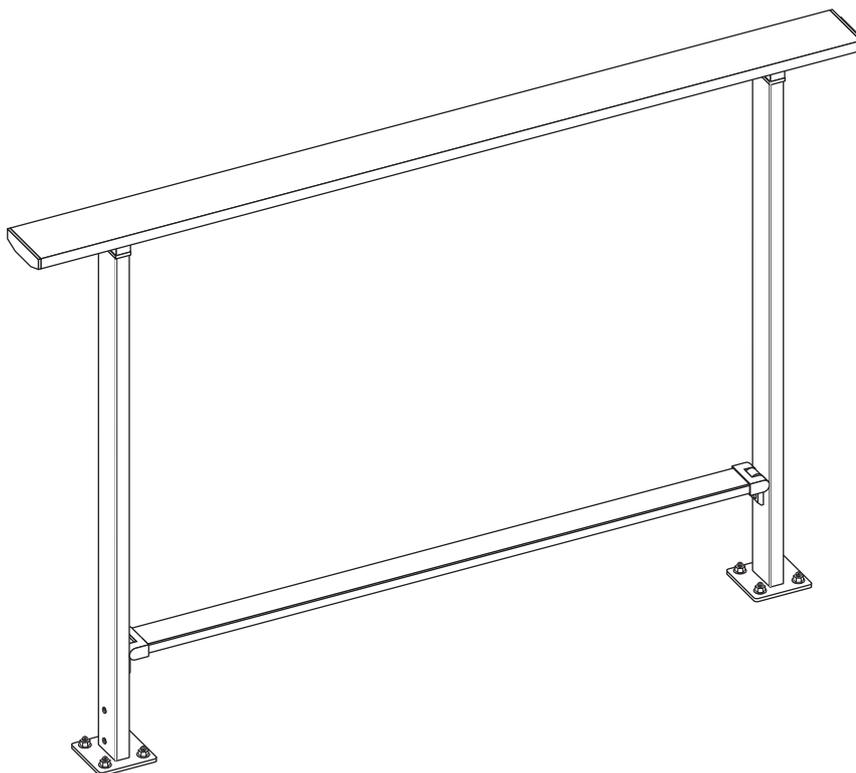
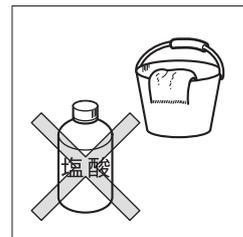
この度は本商品をお買い上げいただきありがとうございます。末永くご愛用いただくために、この「施工要領書」をよくお読みいただき正しい施工をお願いします。なお、商品到着後は、すみやかに検品をお願いいたします。本体に傷、付属品の不備などがございましたら、商品到着後10日以内にご連絡ください。

⚠️ 設置上のご注意

- 歩行補助手摺りを目的にするものです。歩行補助手摺り以外への転用及び改造は行わないでください。

⚠️ 施工上のご注意

- 開梱時に種類と数量を確認してください。
- 指定の部品及びオプション品以外は使用しないでください。
- 商品に傷をつけないようご注意ください。
- 商品の施工については必ず施工要領書に従って下さい。
- 取付場所が通行のさまたげにならないか、十分に確認してください。
- 製品の水平・垂直に注意して施工を行って下さい。
- 基礎は当社指示寸法以上にして下さい。
- コンクリートモルタルの養生期間は十分(4日以上)とり、養生期間中は重い物を乗せたり、振動させたりしないよう注意して下さい。
- アルミ部材の表面に付着したコンクリート、モルタル等の汚れは速やかに取り除いてください。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れた後に柱を立てますと、柱内部に水がたまり凍結破壊の原因となります。
- 施工時の汚れ落としは、中性洗剤をご使用ください。シンナー、塩酸などを使用すると、腐食の原因になります。
- 施工後、ボルト及びねじ類にゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等が、無いか点検して下さい。
- 作業終了後の商品にキズ、ヘコミ等が無いか確認してください。

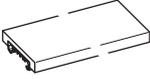


※図はベースプレートタイプの場合です。

■梱包内容

- 開梱時に種類と数量を確認してください。
- 商品に破損や異常がないか確認して下さい。

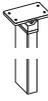
①笠木セット

No.	名称	員数			単位
		1スパン	2スパン	3スパン	
1	笠木 	1	1	1	本

②端部キャップセット

No.	名称	員数	単位
1	端部キャップセット 	1	個
2	トラス頭小ねじ M4×5 	2	本

③標準支柱セット

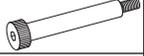
No.	名称	員数	単位
1	支柱 	1	組
2	ボタンボルト M6×6 	4	本

④その他

No.	名称	員数	単位
1	タッチアップ塗料 	1	個
2	六角レンチ (対辺4mm) 	1	本

【オプション】

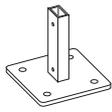
①下棧セット

No.	名称	員数	単位
1	下棧 	1	本
2	下棧ジョイント 1 	2	個
3	下棧ジョイント 2 	2	個
4	CSボルト M4×8 	4	本
5	ストリップボルト 	2	本
6	皿頭タッピングビス 呼び4×20 (ガイド付BRP形) 	2	本
7	穴あけ治具 	1	個
8	六角レンチ (呼び3) 	1	本

②追加支柱

No.	名称	員数	単位
1	支柱 	1	組
2	ボタンボルト M6×6 	4	本

③ベースプレートセット

No.	名称	員数	単位
1	ベースプレート 	1	個
2	六角穴付ボルト 極低頭タイプ M4×10 	4	本
3	ワッシャー M8用 	4	枚
4	スプリングワッシャー M8用 	4	枚
5	袋ナット M8 	4	個
6	オールアンカー M8用 	4	本
7	穴開け治具 	1	個
8	六角レンチ (呼び2) 	1	本

④支柱壁面固定金具セット

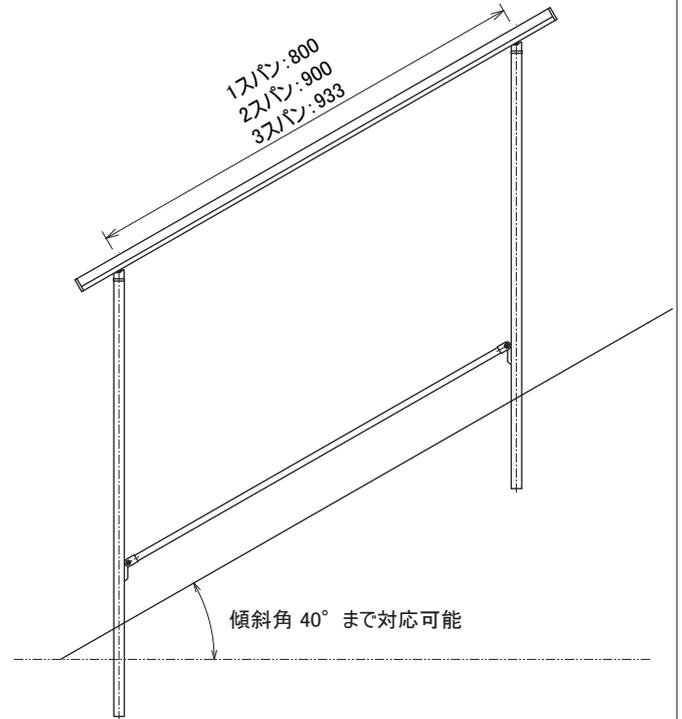
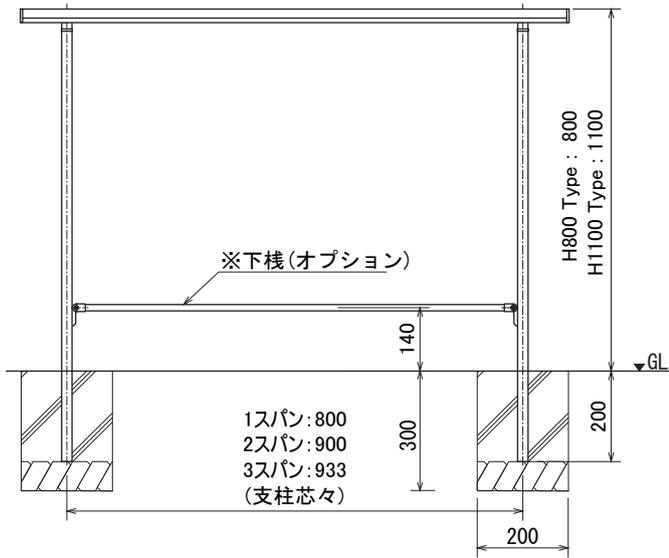
No.	名称	員数	単位
1	壁面取付プレート  ※支柱に取付済み	1	個
2	支柱下部プレート  ※支柱に取付済み	1	個
3	オールアンカー M8用 	6	本
4	ワッシャー M8 	6	枚
5	スプリングワッシャー M8 	6	枚
6	袋ナット M8 	6	個

■基本寸法図

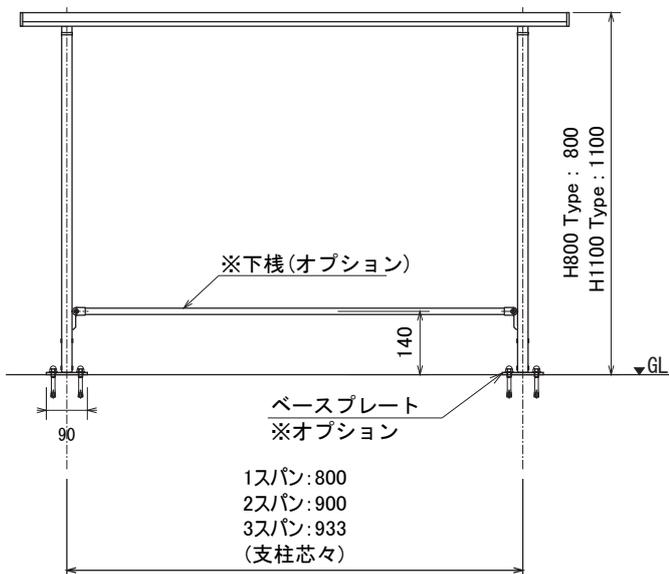
■水平タイプ

■傾斜タイプ

●標準仕様



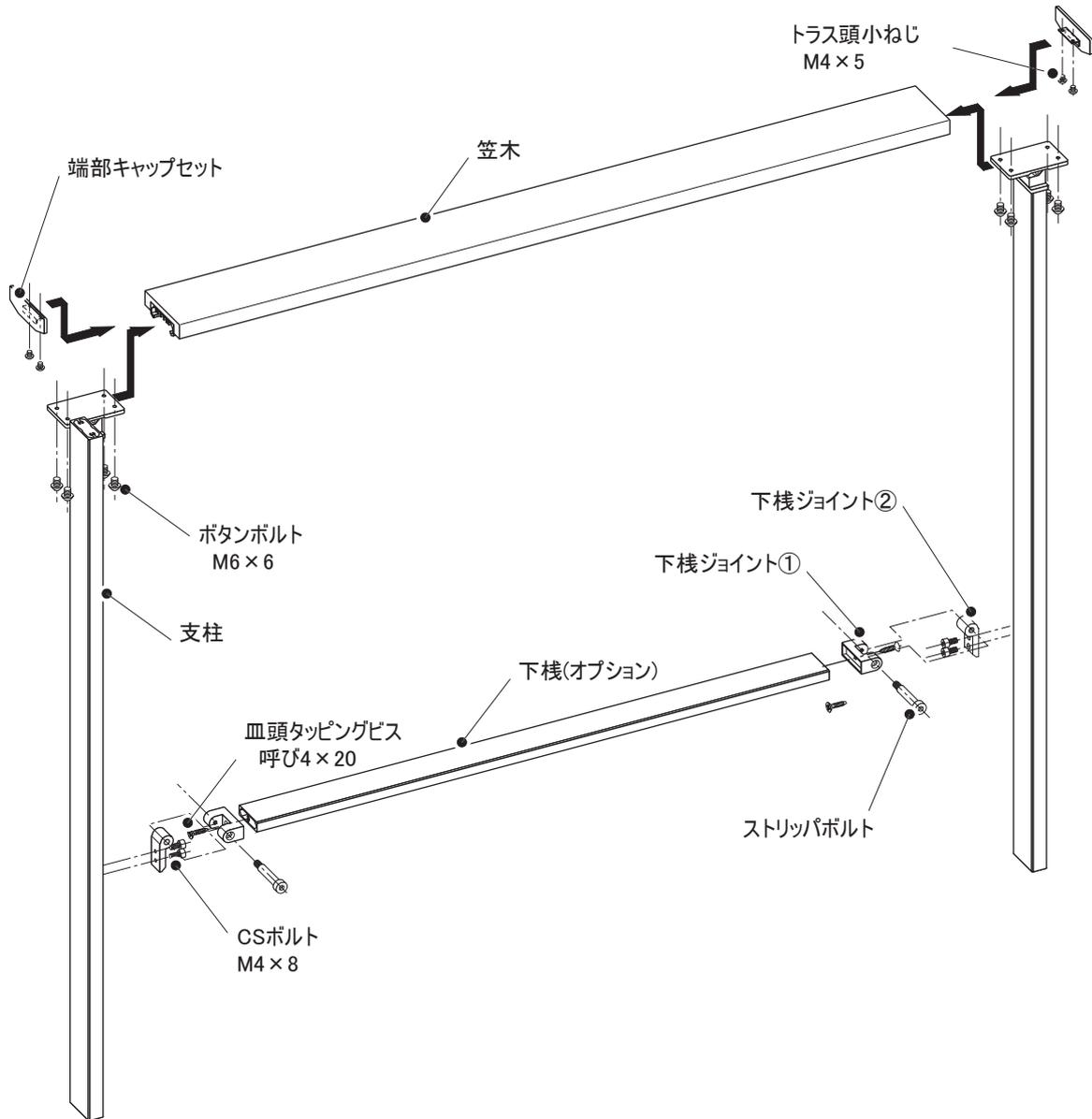
●ベースプレート仕様



傾斜タイプは対応出来ません

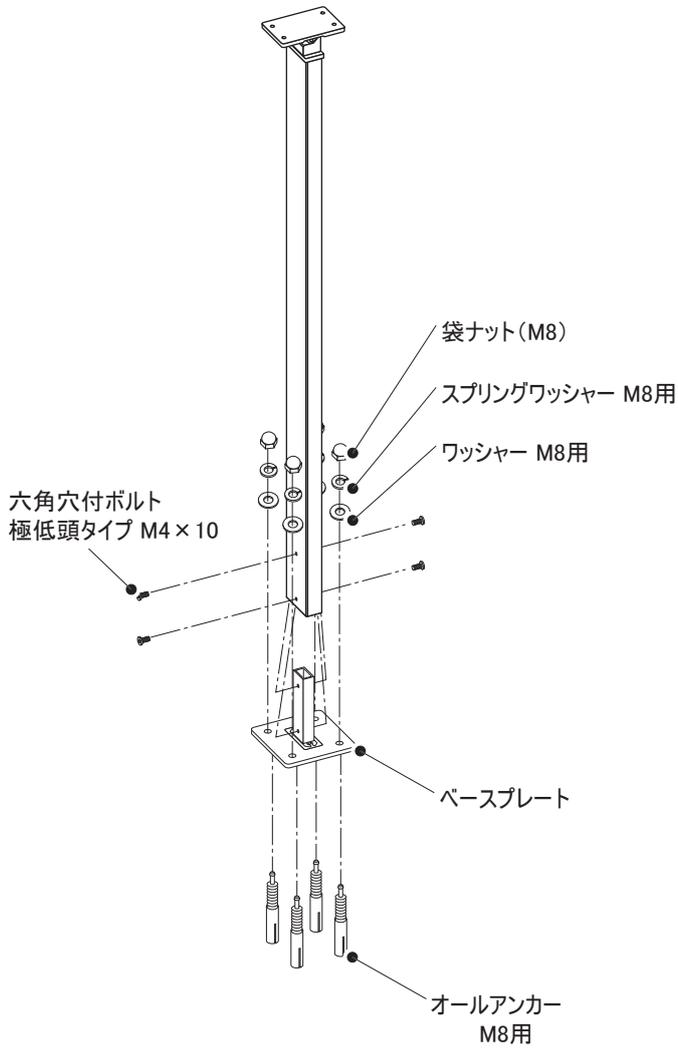
■基本構造と部材概略 (1)-a

■標準仕様

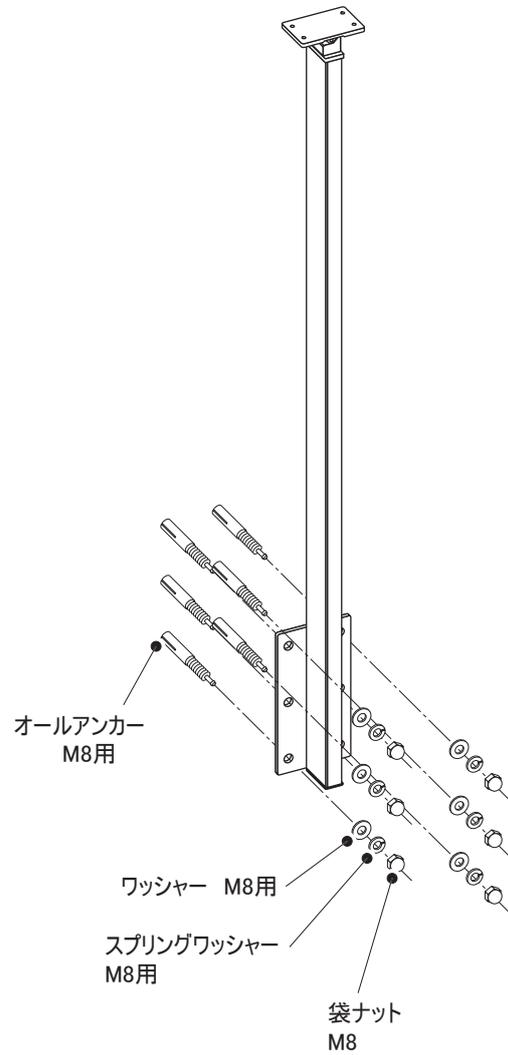


■基本構造と部材概略 (1)-b

■ベースプレート仕様 (オプション)



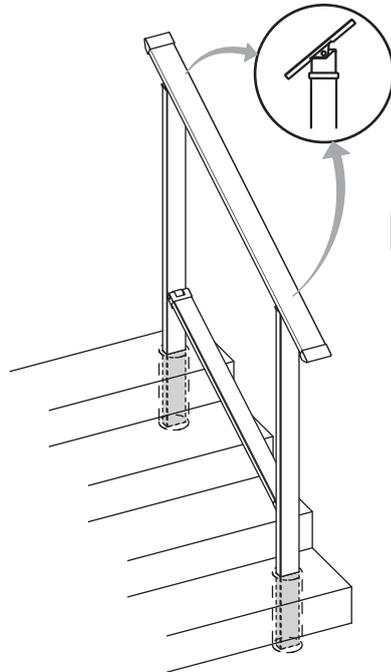
■支柱壁面固定仕様 (オプション)



1 支柱の設置

支柱の設置位置を確認し固定します。

※下棧 (オプション) を取り付ける場合、先に **5** ①~③ (P.9参照) までを先に済ませておくと、施工しやすくなります。



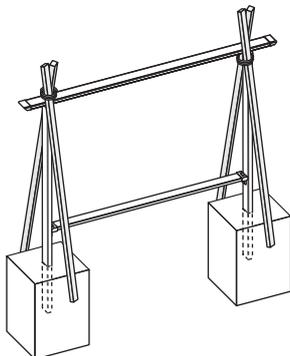
注意

支柱キャップ取付板の向きに注意して下さい。

A. 基礎固定の場合

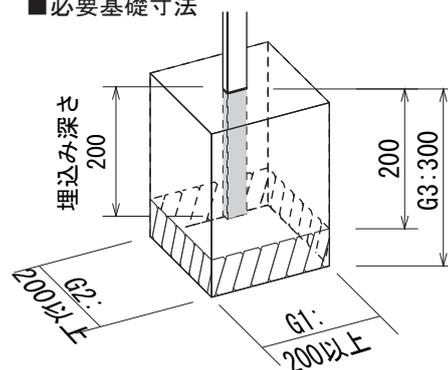
本体をコンクリートモルタルで固定します。

本体を支え棒などで自立させ、垂直・水平を確認してからコンクリートを打って下さい。



下図を参考に支柱を固定して下さい。

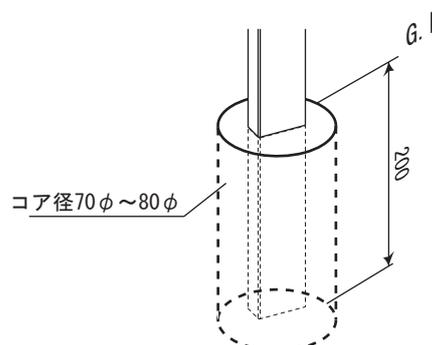
■ 必要基礎寸法



B. コア抜きの場合

支柱の埋め込み深さを200mmとし支柱を固定して下さい。(コア径70φ~80φ)

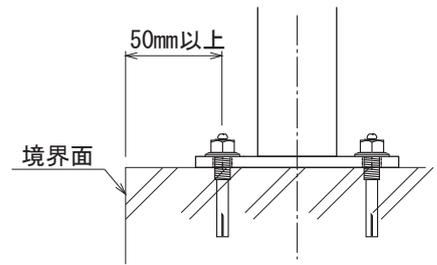
※本体の水平、垂直を確認するまで、固定しないで下さい。



C. ベースプレート施工の場合

⚠ 注意

- ・柱の中心を境界面から50mm以上離して設置して下さい。
- ・コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け下さい。

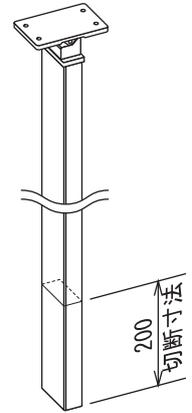


① 支柱を切断します。

付属の支柱は、埋め込み用となっていますので、右図の寸法にて切断してください。

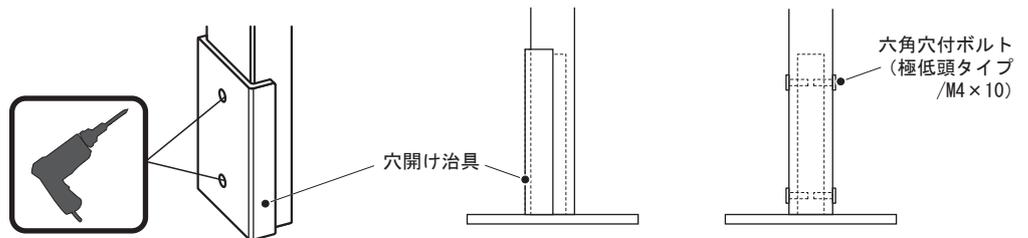
⚠ 注意

- ・階段等に設置の場合、取付場所によって切断寸法が異なります。現場に合わせて切断寸法を調整して下さい。

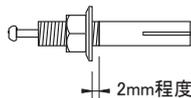


② 付属の穴開け治具を用い、ベースプレート取り付け位置にドリルでφ5の穴をあけます。

③ ベースプレートを本体支柱に差し込み、六角穴付ボルト(極低頭タイプ/M4×10)で固定します。

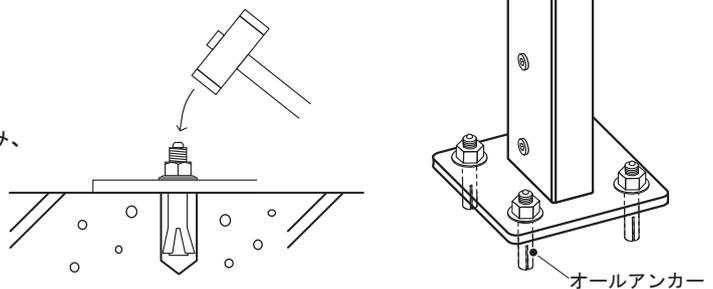


④ オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前(ねじ部が2mm程度残るくらい)までまわして下さい。

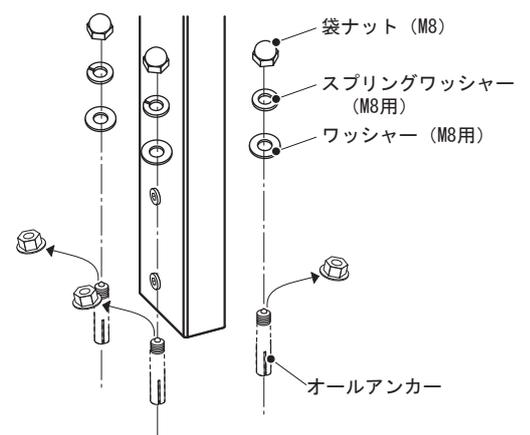


⑤ 取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴(φ8.5、深さ40mm)をあけ、孔内の切粉を除去します。

⑥ 本体を置き、アンカーを挿入します。芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込み、スパナ等でナットを締め付けます。



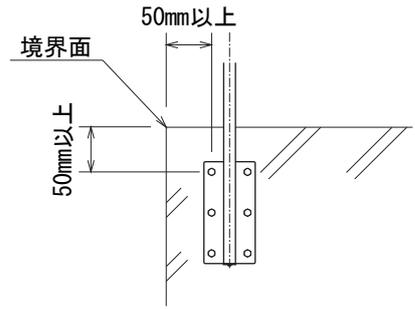
⑦ ナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付けます。



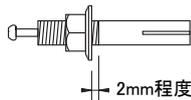
D. 支柱壁面固定の場合

⚠ 注意

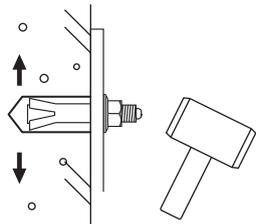
- ・柱の中心を境界面から50mm以上離して設置して下さい。
- ・コンクリートブロック、レンガ等への設置はお避け下さい。



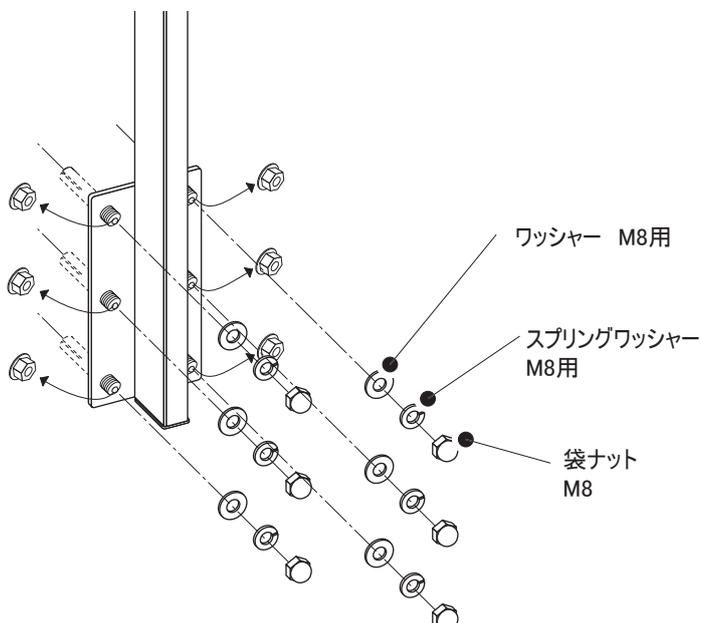
- ① オールアンカーのナット部分を、完全に締め込む手前（ねじ部が2mm程度残るくらい）までまわして下さい。



- ② 取付け部4ヶ所の指定位置に、振動ドリルで穴（φ8.5、深さ40mm）をあけ、孔内の切粉を除去します。
- ③ 本体を置き、アンカーを挿入します。
芯棒が本体の頭部に接するまでハンマーを用いて打込み、スパナ等でナットを締め付けます。

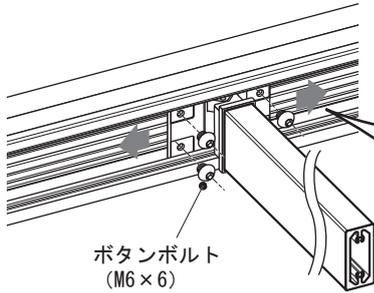


- ④ ナットを締め付けた後、ナットを取り外し、ワッシャー、スプリングワッシャー、袋ナットの順で取付ます。



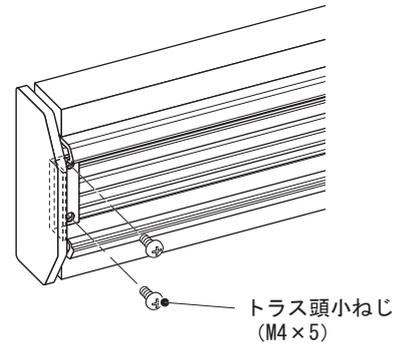
2 笠木の取付

下図の様に、笠木を支柱セット上部の取付板にスライドさせ入れ込み、位置を調整し、ボタンボルト (M6×6) にて固定します。



3 端部キャップの取付

端部キャップセットを笠木に取付け、トラス頭小ねじ (M5×10) で締め付け固定する。



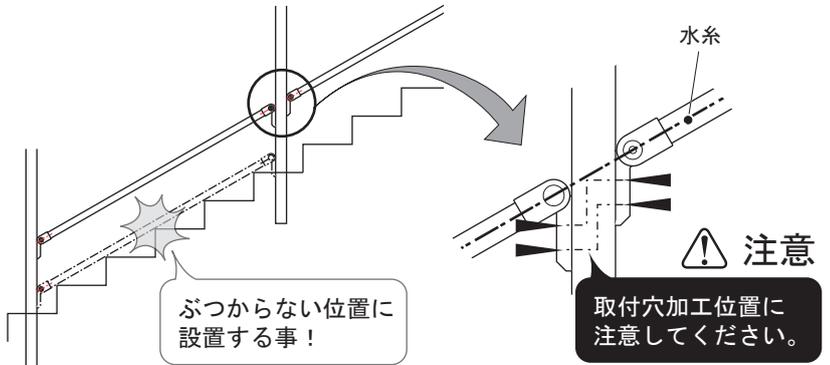
4 下棧 (オプション) の取付

① 下棧取付位置の確認

特に階段などの傾斜に設置する場合は、下棧が当たらない様に、下棧の取付高さ位置を決めて下さい。

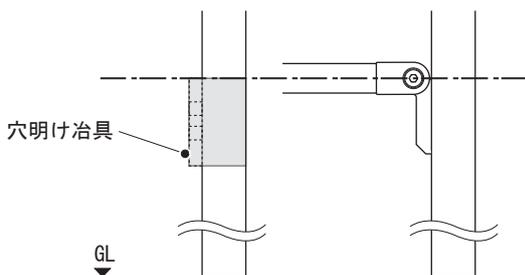
⚠ 注意

水系を張り、下棧ジョイント2の取付位置を決めて下さい。



② 下棧取付用の穴明け

付属の穴明け治具を使い、下棧取付位置にドリルでφ3.5の穴をあけます。



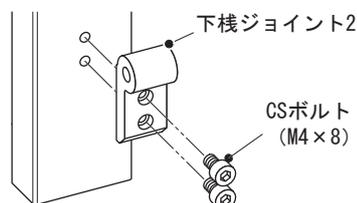
- ① 治具を使用して墨出しをします。
- ② φ3.5 の下穴をあけて下さい。

⚠ 注意

必ず下穴をφ3.5で開けて下さい。穴が小さいとボルトが入らず、大きいとボルトが効きません。
※タップ加工をすると、ボルトを締め付けやすくなります。

③ 下棧ジョイント 2 を支柱に取り付ける

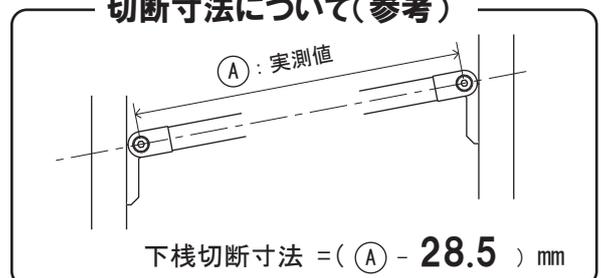
②であけたの穴に下棧ジョイント 2 をCSボルト (M4×8) で取り付けます。



④ 下棧の切り詰め

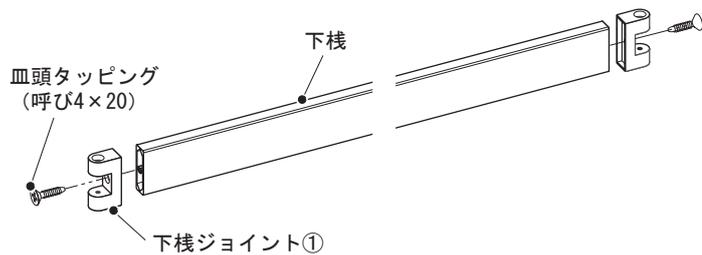
取付場所によって下棧の長さを調整し、切断して下さい。

切断寸法について(参考)



⑤下棧ジョイント金具の取付

切断した下棧の両端に下棧ジョイント①を
皿頭タッピングビス(呼び4×20)で取り付けます。



⑥下棧の取付け

下棧と支柱をストリップボルトにて組付けます。

